

The Press Release

Informed by

S k y p o w e r 合同会社

石川県河北郡内灘町緑台1丁目243番

**2013年8月20日 スカイパワー高岡発電所建設工事着手
環境にやさしい歴史都市・高岡に新たなランドマーク**

スカイパワー合同会社（代表 張尊賢 本店石川県内灘町）は、2013年8月20日スカイパワー高岡1号・2号発電所の建設工事を着手した。スカイパワー合同会社は台湾の上場企業である電子業界におけるハイテク材料のトップ総合商社の華立企業股份有限公司（董事長：張瑞欽 本社：高雄市）と総合コンサルティング事業を手がけるプロスペックホールディングス株式会社（代表取締役：遠山知宏 本社：名古屋市中区）とによって、日本国内の太陽光発電事業に取り組む為設立された。同社は今月16日に石川県内灘町で2000KWの太陽光発電所を稼働させ、その発電所に続き高岡市でも建設する事となった。スカイパワー高岡1号・2号発電所は、合計の定格出力は3000KWと北陸地区での最大級となる。建設場所は、高岡北インター北側、旧アクアパレス跡地約7万平方メートルの敷地に建設する。年間発電量は316万KWhr、一般家庭の750世帯が1年間に使用する電力に相当する。Co2削減量は、113万キログラムの削減量を見込んでいる。発電開始は2013年12月を目標に建設を実施する。建設は、名古屋のゼネコンである株式会社石田組（代表取締役：石田侑嗣 本社：名古屋市中区）が、管理・推進する事となる。

スカイパワー高岡発電所は、北陸地区での民間メガソーラー最大規模となっており、平成27年度に開通する新幹線を前に高岡の町に又一つランドマークができることとなった。環境にやさしい歴史都市・高岡は県内外から更に注目を集めることとなる。

スカイパワーでは今後3年間で、全国各地に100メガワット程度まで事業を拡大する計画である。又自社発電設備だけではなく、自社で行った実績を基に発電事業希望者にもシステムを提供していく予定である。華立企業股份有限公司とプロスペックホールディングスのコラボレーションで、一般企業向けや一般家庭へのシステム導入が身近な物となってくると考える。なおスカイパワーの営業や技術面に関しての窓口は名古屋のプロスペックホールディングス事務所内で代行することとなる。

※本広報資料は、ご自由にご転送・ご引用ください。

本件に関するお問い合わせは

スカイパワー合同会社 代表 張尊賢

プロスペックホールディングス株式会社

名古屋市中区栄5丁目26-39GS栄ビル8F

経営企画部 広報担当 部長 村田達則

技術部 部長 北野英俊

T E L 052-253-9100 F A X 052-262-0321

発電所概要

名称	スカイパワー高岡1号・2号発電所
所在地	富山県高岡市五十里地内
計画地積	7万㎡
計画規模	1500Kw（1号定格出力）+1500KW（2号定格出力）
年間発電量	316万Kwh／年（見込み）・・約750世帯分の年間使用量
年間CO ₂ 削減量	113万Kg・CO ₂ （見込み）



スカイパワー高岡1号発電所から見た、発電所敷地と高岡市内